

6 7

1 2 3 4 5 6 7 8 9 80

70

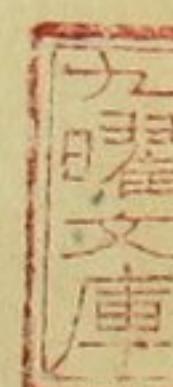
4 5 6 7 8 9 10

60

8 9



は戊戌九月の三月より十月までの事  
ありそぞれ行とも寧わの中おひちよめづりよて  
因れくもまくゆらすとし。行へあやへくこと  
心あふ。もとわきをぞ。われがらようよ  
やうが。國めのうちよりぬべきくらはば。ごひ  
うそりぬあうとぞ。うだ。行う。トく。ひとよろ  
うぬきぬよ。うそりてじとわんすりも。うそりく  
ふみ。わねぬ。やかく。もやく。のうすめぬ。一。の  
すら。と。せき。もわ。ぶ。う。の。う。う。う。と  
う。う。う。う。あ。や。う。う。う。う。う。う。と  
れ。も。う。無。う。う。お。う。う。う。う。う。う。う。  
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。





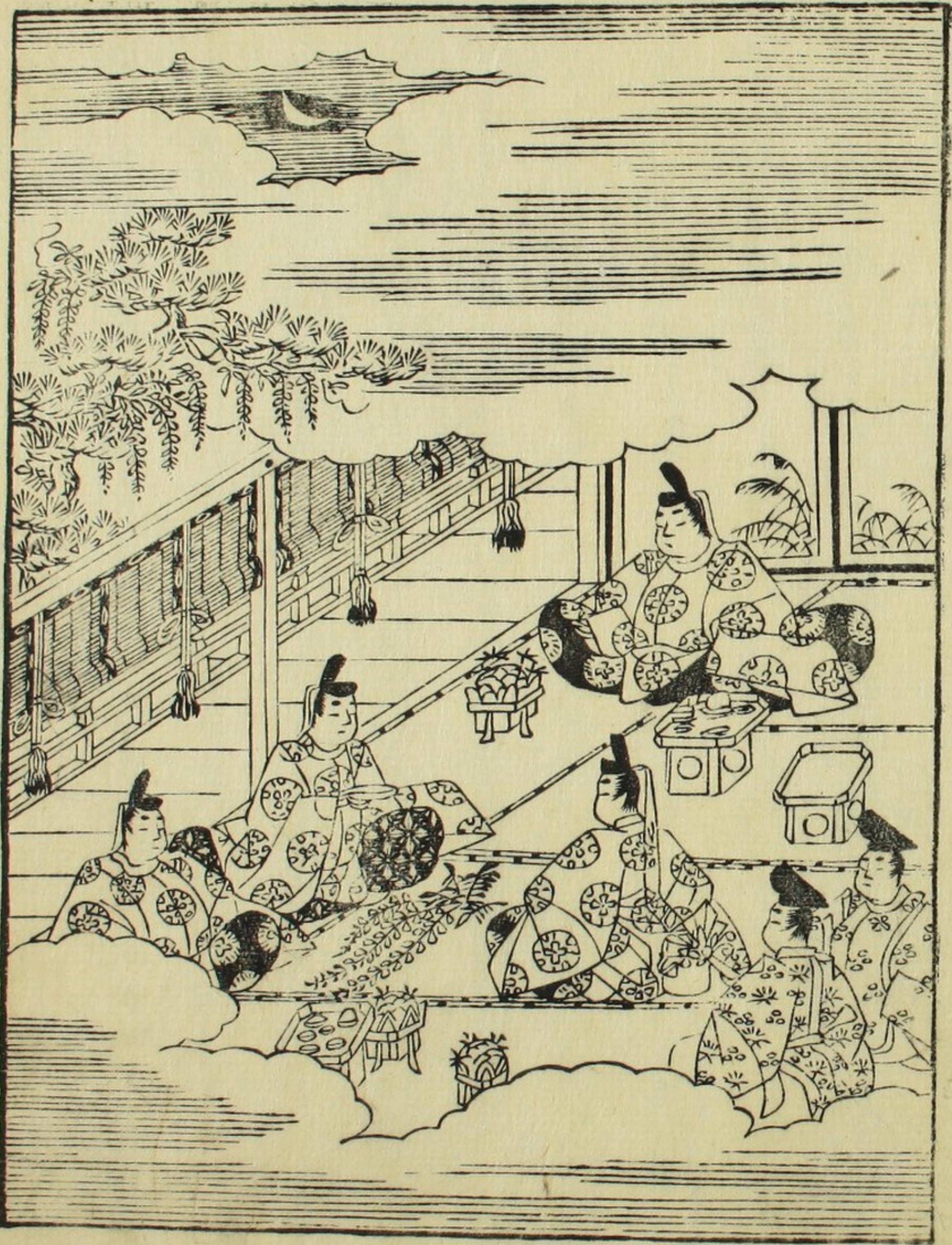
日と、おひれちうごれ、齋と、  
そりまく、坐て、おゆめ  
お事ねもあもれあうタの、  
きりて、あきびくらくへじの、  
りりて、おゆめ、うわと、  
きりて、袖と、ひじと、  
もくと、もくと、  
えまく、えまく、  
やくすの、の、の、  
やくすの、せよ、  
べくあくの、まくばく、  
かくまくの、まくばく、



いえんざ  
北条様の御事。ちよとちよとわざわざ人をよみあひへ  
むけれひきつゝろりんやうて、ばかれの心と  
ちよよもあめぬぞどもばくと、れもくもくもく  
きくせわねばく、の方よそうもうづひいも、  
けくうじて、そそそれもすゞ心やう、  
もくできくわがくのゑどうち柏おとものうそく。  
七八人うち五人てじくへづれぬま、いづれとも多く  
あくわくまくらむもあれど、ちとひととすくりて  
もぐりげあり。わくわくおまくひきつゝろりんをあふ。

ひきつてうひでごまかんし給ふたまくやう  
ひぐくへとせられぬすとぞうりよて。それゑ  
けうよううる候ぬ書のまづれとくくされひけ  
せうえとよめおざらぬいあくとくううじく  
うちすくちうめうがうりうぢばゆふくろ  
はひこのまのひううむちとくわておまきくろ  
ゆどあんあやしくくろううあまれよあく  
もぐるづろもくろ。まくろくやうりよあく  
べくそくうちけくまくろくまくとく。自ひ  
まきげあく。がいとくでゆれど。まのまくろ  
まくろくまくとくあまくびとくろをまくと

かのまくまくわあくび一絃。あくくはくち  
きくまくひだりくまくまくくまくゑり  
絃とくまくくまくくまくすまくあく。も  
すゑのせよへあまくまく。おののまくのやうく  
せーほうを。まくひつうめう人。がくひすて絃  
ちんつくうけ。文籍タノハシミキよも家統タノハシミキとくまくく  
べや。あよびのとくへとくまくくまく  
さくまくを。まくひつうめう人。がくひすて絃  
べくちんちんのりて。まくひつうめう人。がくひすて絃  
ゑをばく。まくひつうめう人。がくひすて絃  
どくまくひつうめう人。がくひすて絃



歌中詠

卷之三

七

けつもつまうされとせみれきて。さくよ  
けうこの家のとうちくまへかへるをつ  
おもう。おもてどよまびりぐもんにれ  
あそびよそ。わらひのすずらりぬりや  
あらけやねよ。うきうちわとくさく  
せぢつとくへごうして。もうくんをよし  
そそやうめぐれ。あわ、あゆづらはんやと。中あよ  
うわへぬ。わあきく柏<sup>カハ</sup>。わやすと。わゆくめ。おこま  
もくわくすく。ひいぢれば。まく入めくわく  
もくわくわく。中ねまのしげのねねよ。うくわく  
うくわく。柏<sup>カハ</sup>。柏<sup>カハ</sup>。柏<sup>カハ</sup>

のとひきへとめりぬつや。ひきかね  
れ。うもぐちのとひき。まほり。う  
れとのゆべ。みゆき。よく。とゆば  
あまき。あをりひあ。け河。ぐちも。いづ。  
園。のあ。うき。あさき。と。の。地。あ  
まく。うり。す。うち。ワ。ひ。て  
タ。あ。け。う。く。の。園。と。う。く。の。あ。う。く。よ  
の。う。く。あ。が。う。く。あ。ん。年。月。の。い。う。く。も。つ。と。う.  
う。く。あ。や。う。く。う。よ。地。あ。う。く。あ  
う。く。げ。う。く。あ。う。く。あ。う。う。う。う。う.  
う。く。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う.  
う。く。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う.

タ  
とくじらよおのびくもてまわるこく  
わくまくすけ袖のきびくを.<sup>セ</sup>  
あまくまくもとくもくもくもくもく  
あまくまくもとくもくもくもくもくもく

の爲もひのうりや。れぬ。一いつてを  
さげあれば。いづくらやとて。まよひば  
ざきうちれば。うりきぬ。彼のうきてち  
きよゆく。中ねむ。相あ。よ。めで。う  
れよひきく。つづく。うへ。あきよ。れい  
ひ。うきうち。うき。うきよ。う  
おとの。うきうち。人の。じつ。く。う  
き。うき。六糸の。ほ。も。く。と。う  
寧が。つる。い。うき。うき。う  
まき。うき。け。い。うき。うき。う  
あ。うき。うき。うき。う



うとうとて。も達ちともまづふどひて。ち  
あううり。され前よりも。あやへ  
きちてちう。うちうり。寧ねのき。ううち。  
つよけ。ひきつらひて。せき。わく  
ら。どちくけ。うちくわく。人。  
ありうり。年ばのけ。うちうり。うく。  
あく。うちくれ。が。じ。む。せんや。し。あく。  
お。う。も。う。う。うちくら。う。う。う。う。  
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。  
の。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。  
や。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。

わす事なきあらむりあり。がうづりの  
日のあつたるよまうごのうて、へきはゆんも  
へきはく。まよひます。がくぐの女うえ。  
をのく車ひたて、まくわまく  
くわけりゆうじ。それへそれとまくわめく  
いざうちくわのくわひちやう。ほん  
ゆえもとすの車をくわく  
くわくわく。時よりくわくわく  
あらへんくわくわく。あら  
けらうくわく人。もぢびくわくわく  
くわく。そのねのくわくわく。あらうくわく  
くわく。かうふき

人にて、もづよちうのびううと、じやへち  
ひあくす、うそておつすも、りんへりつ、じそを  
あれ、すぐそ、つまき、めちくせあれぐ  
さよあくそ、ぶけう、さうのせをすぐ、あく  
あれど、のうりぬるすゑのせうど、のうへり  
ひきうへよどきくへ、さくへも、うち  
うきいゆて、じゆくあらど、もれうと、うき  
きれが、そちくよ、おみぬ、近寄づきの徒、柏  
きくきく、せぢかをみて、おふくあくうぞん、か  
おけり。うとうくのすけも、つひうちく、あく  
惟光院  
は、内裏、まづらも、あまく、六宗院も、

まちまちとすひどき而ちさきでば  
よきてうなぎのすわりそまちの而すえ  
ひうちれい。うちとひづあられをた  
おめうと。おめうと

つとめて、寧わのすねづまりの而下さん  
まひタア。うちとひずあくれを下さ  
申されじ。ウカヤんじとちきさよまう  
おめりを。おゆきすうちさひう  
ちよそやよのうよめり。おばせ  
くまともうりよけられ。あくま  
りうす。うよもあざれ。うを。おゆ  
りおれ。うよのうれ。あれじ  
おゆくてもうれ。うよのあハラ  
有體

されれど、ねづかれてやがて、あはこの  
内<sup>惟</sup><sub>先</sub>約<sup>娘</sup>すと、あくわざす。ひまゝ、あれゆべく、うへて、れ  
まづよ、おののこ<sup>室</sup>を、うよあがく  
くもえそひまつひほく、うりづく。  
壁<sup>壁</sup>うろこをやきくと、やがく、うへも  
つあすあくびくとのうへ、うそく、うへも  
たへもくと、うひあびくと、うそく、うへも  
よも、今へやう、うびつまく、表<sup>裏</sup>よ、うへ  
うん、うん、心<sup>清</sup>きさればんも、あひうと、ゆめひ  
あらゆく、このあらゆく、まく、うへあえ、  
うへもうじまく、まく、うへもうじまく、うへも



思ひ出でる。うつておどる。このゆきのまゝの  
にて、車ちよくやうまれきて。おれの心ありとゆく  
よし。あめとさむく。すまう。かのゆく。  
さり。つむう。ひげ。ひわうれや。ううれ有とゆく。  
まのうち。まますよ。潤のまく。まめ。  
ひよふれとく。さりげ。年ばく。びよあびく。  
うづ。う風。くう風。う風。う風。  
のべあく。うれぐ。う風。う風。う風。  
すまうのゆ。わうきよ。う風。う風。  
ようづ。う風。う風。う風。う風。  
わうく。う風。う風。う風。う風。

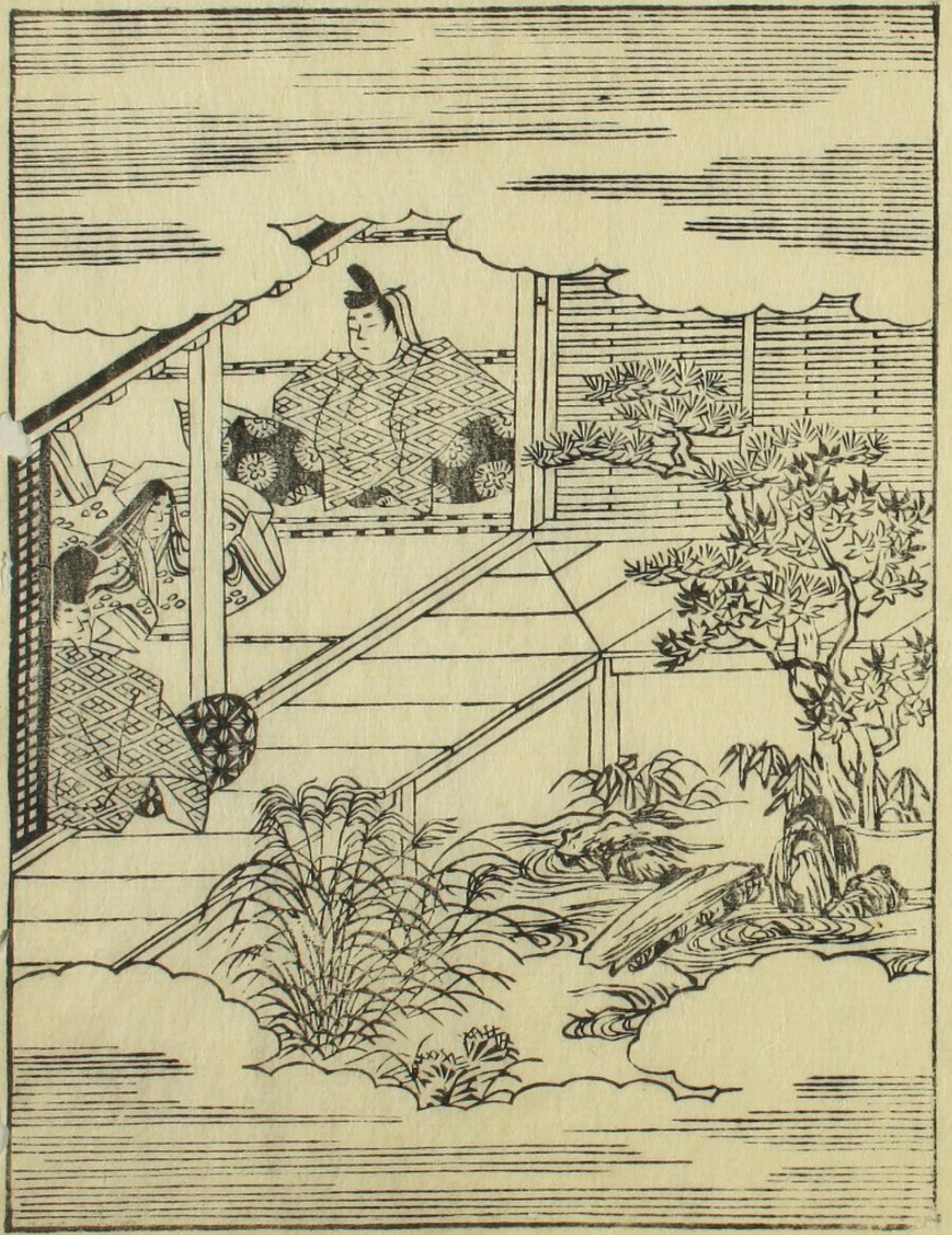


まろもれぬふうもとちりこのゆゑりも。  
せよあくわゆゆやと風よだ。もうとまきゆづ  
あればさりととせば一ゆづりうり。又のれくの  
時よもやどきまくも。寧わのれふりへも。  
えれうり。ゆきとらうきとすせば一あくゆ。  
あくえうり。ゆきとらうきとすせば一あくゆ。  
をうねやめうり。めめりて。おれうめうせ  
いそ。あくの船をよ天皇よあく。うれく位え  
き。よくまつづく。あくらうらうれくの船。  
うらでませのれゆううめくわくれぐらく  
ううううう。音の則とあくまく院國よも。  
移書

うううううううううううううう  
まつううううううううううううう  
けううううううううううううう  
えううううううううううううう  
れううううううううううううう  
れううううううううううううう  
まううううううううううううう  
ちううううううううううううう  
まううううううううううううう  
まううううううううううううう  
まううううううううううううう  
まううううううううううううう



おれこそひにありあらへる人のゆゑ  
あやかとれまくわう・女志  
あさ人のびじよみづつれあくてうきを  
やわらつまゐの水<sup>は</sup>がどのきよゆどよ。ゆとく  
うきうきあでぬけりと紅葉のあよむら  
くわて。わうゆく

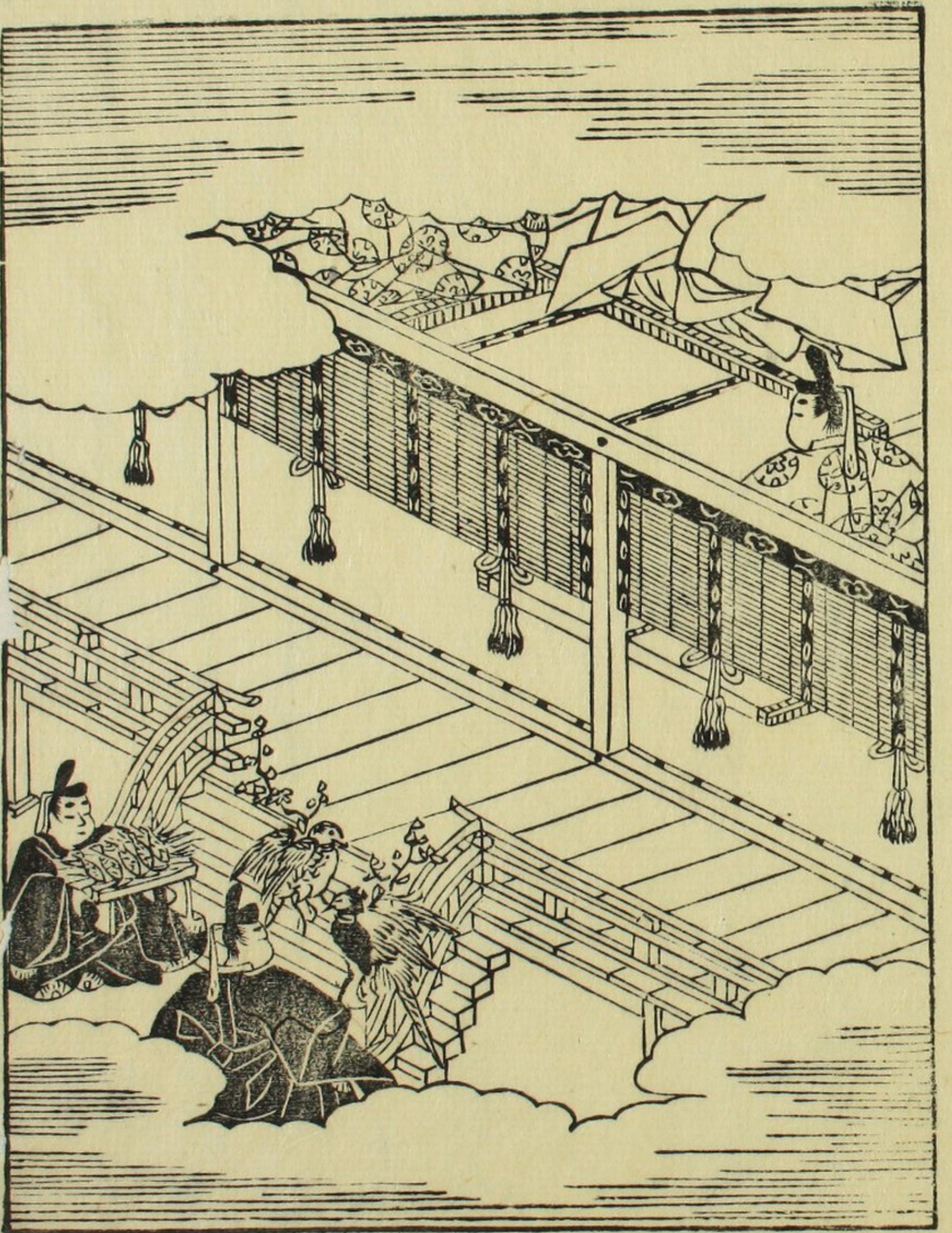


さうすまへ  
されどおそればくつ  
そのまのわづまひぐもうちねん  
こだもとけゆきよきり。おもてごみの室あとのれ  
とづくりれんもわくこれねがくうりがくよ

まもれの松のすゑぐ 地  
あへべだもりやうのすぢよ  
すあづきうとタム中納言ハ切  
あづきカツキあづくテクニとえ  
あづきカツキあづくカツキとえ  
秋月あまうのほ冷ヒ六角院より  
さうりうてげうあづきうびのすもこあづくカツキよ朱雀サカナ  
院よひうおりあります

べくればせよゆんべ  
よのぐもくろとおどろくす。あくどの院。<sup>は</sup>も。ゆく  
をゆく。あやうくゆくらまうりとまくをゆく。  
みのゆりきわりて。まつむまごの<sup>との</sup>ゆ。ちぢむ乃  
フミのゆひまひく。あくづて。左右のをゆくちくひ  
く。ゆく。おののきらよあやめうれびとくづひ  
く。びつぶくづく。どよまれこのきんあくようりく  
おります。うちのねくらく。りく。およひく。お  
あく。あくわくぐく。あよへ。さん。やくをゆく。づ  
く。それきりく。びぐのゆよ母とまうりて。  
まく。くろのくらのゆく。院の夥<sup>う</sup>いをゆく。

つひをなのまくらり。あんまのひんじとう。  
おまへよづく。のひくらみだく。ひま  
つまくそくと



ままたうあくの氣もかくよ袖  
れども、そのありがちで舞ふら  
きびすへとされも人よばもざれ  
りうらうとこのよきよきよきよき

樹のいづろひへりありかなと云ふて。さへ、うき  
地どもそののよ舞ひ。お葉のげ。うき  
りゆく。日のくろく、もくろ  
り。けふうづくわや。そ  
ちうくそくへもす。冷  
かむのうきのれ。もゆす。地のけづきうちす  
はくよ。あよられか。まつわづ。うの法  
のまくも。年暮えへつめり  
くゑよ

